

類別：機械器具（78） 家庭用電気治療器
管理医療機器 一般的名称：温熱・電気マッサージ組合せ家庭用医療機器（JMDNコード：71006000）

F B マッサージ器

【警告】

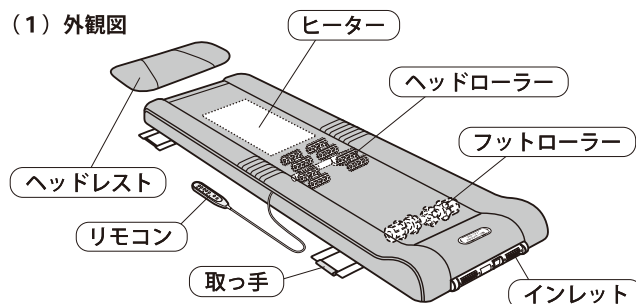
- 医師からマッサージを禁じられている人は使用しない。
- 自分で意思表示や操作ができない人、幼児への使用はさせない。
- 子供には付添いなしでは使用させない。また、本体の上で遊ばせたり、乗せたりしない。
- 交流100V、50/60Hz以外の電源では使用しない。
- 電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない。
- 電源コードなどのコード類を傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、熱器具に近づけて使用したりしない。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。
- 分解や修理、改造はしない。
- 使用中に身体に異常を感じたときには直ちに使用を中止し、医師に相談する。
- 使用しても効果が現れない場合、医師または専門家に相談する。
- ヒーターを使用する場合には、低温やけどの恐れがあるため、次の注意事項を必ず守って使用する。
 - 睡眠薬などを服用した人やめいてい（酩酊）状態の人は使用しない。
 - 子供や熱に敏感でない人が使用する場合は十分注意し、付添いなしでは使用させない。
 - 必ず、パッドまたは毛布などを敷いて使用する。
 - 熱すぎると感じたときは、直ちにヒーターを切る。
 - 15分以上の連続使用はしない。
- 使用前に本体の表地が破れていないか確認する。また、その他の部分の表地にも破れがないか確認する。破れがある場合は直ちに使用を中止し、事故防止のためすぐに電源プラグを抜く。

【禁忌・禁止】

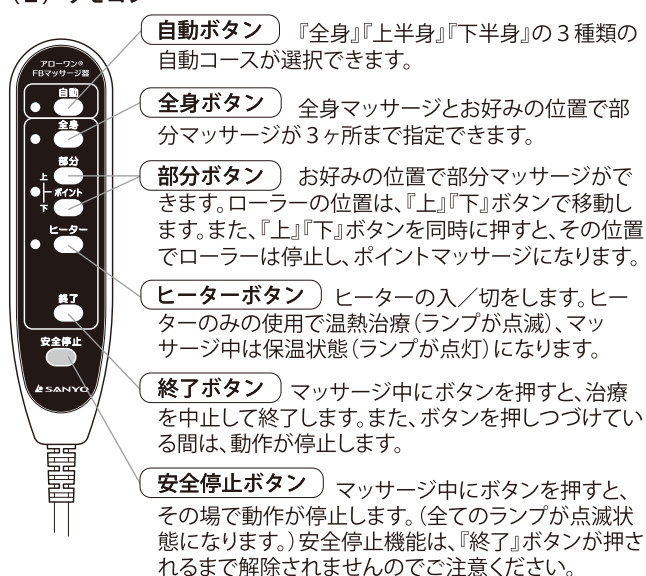
- 次の人は必ず医師と相談のうえ使用する。
 - 医療機関で治療中の人や特に身体に異常を感じている人
 - ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を使用している人
 - 悪性しゅよう（腫瘍）のある人
 - 心臓に障害のある人
 - 温度感覚喪失が認められる人
 - 低温やけどをしたことのある人
 - 生理中や妊娠初期の不安定期または出産直後の人
 - 糖尿病などによる高度な末しょう（梢）循環障害からくる知覚障害のある人
 - 皮膚に創傷や異常のある人
 - 安静を必要とする人
 - 体温38℃以上（有熱期）の人
 - 骨粗しょう（鬆）症の人、せきつい（脊椎）の骨折、ねんざ（捻挫）、肉離れなど、急性〔とう（疼）痛性〕疾患の人
 - 背骨に異常のある人や曲がっている人
 - 認知症の症状のある人
 - 血圧に異常のある人
 - かつて治療を受けたところまたは疾患部へ使用する人
 - 医師により入浴や運動を止められている人
 - やけど、けが、お灸、手術後で完治していない人

【形状・構造及び原理等】

（1）外観図



（2）リモコン



（3）本体サイズ

寸 法：幅65×長さ215×高さ11.5 (cm)
(モーター部高さ13.5 (cm))

重 量：16 (Kg)

（4）付属品

ウエイト×2、パッド

（5）電気的定格

- 1) 定格電圧 AC 100 (V)、50/60 (Hz)
- 2) 定格消費電力 電気マッサージ器：79/84 (W)
[電動機 35/40 (W)、电热装置 44 (W)]
温熱治療器：50 (W)
- 3) 感電に対する保護のクラス クラス0機器
- 4) 電極の有害な水の侵入に対する等級：IPX1

（6）動作原理

ローラーユニットの動作原理として、本体の足側には駆動部があり、内部には、ベルト巻取用の駆動モーター、プリント基板、リミットスイッチなどの電気部品と、左右に駆動用の巻取ギヤなどがある。この巻取ギヤの先には左右に樹脂製のガイドレールが1本ずつ取り付けられ、溝の中にステンレス製のベルトが張られている。ステンレスベルトは、足元側にある2個1組の巻取りボビンと、頭側にあるベルトプーリーに掛けられ、ベルトを駆動モーターで巻き取ることで、巻取ギヤにベルトが巻かれ、ベルトに固定されている2本のローラーユニットは、ガイドレールに沿いながら本体の長手方向に移動し、マッサージを行う。このときの駆動モーターの回転数により、施療部の移動速さが決定される。

また、ヒーターは、本体底部に配置されていて背中から腰を温める。本体のヒーターでの温熱効果について、温熱治療器として使用する場合、ローラーは停止状態であり、ヒーターへの通電率が100%となる。これに対しローラーが作動状態のときには、加温状態となり、ヒーターへの通電率は75%となる。この通電率

取扱説明書を必ずご参照ください。

の違いとローラーが作動することによるヒーターと人体の接触度合いの変化により表面温度が温熱治療状態と加温状態では異なり、マッサージ効果と温熱効果が同時出力されない構造となっている。加温状態は、付帯機能に該当しない機能であり、冬場など寒いときに使用する機能で、治療器としての温熱効果を持つものではない。

本体のモーター、ヒーター、リモコンなどの制御は全てマイクロコンピュータにより行われる。操作はリモコンにより行い、発光ダイオードの点滅とブザー音により操作の確認ができる。

【使用目的又は効果】

温熱治療器として電熱による温熱効果、電気マッサージとしてあんま、マッサージの代用。一般家庭で使用する。

【使用方法】

使用前に取扱説明書をよく読み、正しく使用する。

（１）使用時間・使用頻度

使用時間は１回を１５分までとし、１日に１～２回で体調に合わせて使用する。

（２）操作方法の詳細については取扱説明書を参照する

- 側面の取手ははずし、平らな床の上に広げて使用状態にする。電源コードのコネクターをインレットに差し込み、電源プラグはコンセントに差し込む。ローラーが足元にない場合は自動的に足元へ移動した後、電源待機状態となる。
- 頭の位置をヘッドレストの上から約３ｃｍほどあけ、真ん中に身体をのせて、ゆっくりと仰向けに寝る。
- ウエイトを膝の上にのせると、下半身へのより強いマッサージが可能となる。
- リモコンの各ボタンを操作して好みのマッサージを行う。
- １日１～２回、１回１５分以内の範囲で体調に合わせて使用する。
- ヒーターを使用する場合には必ず、また、ローラーのあたりが強すぎると感じた場合は、パッドや毛布などを敷き刺激を弱くして使用する。
- 使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いて保管する。収納するときは電源コードははずし、折りたたんでから取手を固定する。折りたたむと内部の安全スイッチが働くので、電源コードを接続したまま誤ってリモコンを操作してもローラーやヒーターが作動することはない。

【使用上の注意】

（１）使用条件及び環境上の注意事項

- 他の治療器と同時に使用しない。
- 治療目的以外には使用しない。
- 飲酒後や食後３０分以内の人は使用しない。
- 素肌やぬれた身体では使用しない。
- ２人以上での同時使用、腰をかけた状態での使用、立った状態での使用、うつ伏せ状態での使用などはしない。
- 逆向きでは使用しない。ヘッドレストを頭側、インレットを足側にして使用する。
- マットレスなどの柔らかいものの上では使用しない。
- 本体を折り曲げたり、角度をつけたりした状態で使用しない。
- 電気毛布やホットカーペットなどの暖房器具と一緒に使用しない。
- 浴室など湿度の高い場所では使用しない。
- プラグ類にピンやゴミ、水分などを付着させない。
- 突起物や障害物のない水平な場所で使用する。

（２）使用前の注意事項

- 電源プラグは確実に最後まで差し込む。
- 使用前に正常に作動することを確認する。また、しばらく使用していなかったあとに使用するときは、正常かつ安全に作動することを確認する。

（３）使用中の注意事項

- 使用中は眠らない。
- 本体やリモコンを水などでぬらさない。
- リモコンを落したり、上に乗ったり、引っ張ったり、ぬれた手で操作したりしない。
- ウエイトを身体や脚の下などに置いて、ローラーを作動させない。また、人が使用していない状態でウエイトを置いたままローラーを作動させない。

- 動作中や終了時にローラーが足元へ移動しているときには、電源プラグやコネクタープラグを抜かない。
- 停電したときは、直ちに電源プラグをコンセントから抜く。
- 動かない場合や、異常のある場合には直ちに使用を中止し、事故防止のためすぐに電源プラグを抜く。
- 『安全停止』ボタンを押して、ローラー動作を途中で停止させた場合は、必ず『終了』ボタンを押してローラーを足元の終点位置まで戻す。
- 使い始めやマッサージが強すぎると感じたときは、パッドまたは毛布などを敷いて使用する。それでもなお、苦痛や激痛を感じる場合には使用しない。

（４）使用後および保管の注意事項

- 本体を落したり、衝撃を加えたり、乱暴な扱いはしない。
- 必ず内側に折りたたみ、外側へは折らない。
- ローラーが折り曲げ部付近にあるときは、折りたたまない。
- 折りたたんだ状態で人が乗ったり、重いものを載せたりしない。
- 次の場所では保管しない。
 - 暖房器具などの近くで直接高温になる場所
 - 直射日光の長時間当たる場所
 - 振動や衝撃の加わる場所
 - 湿度の高い場所
- 縦置き状態で保管しない。
- 上に重い物を載せた状態で保管しない。
- 汚れを拭き取るのに、シンナー、ベンジン、アルコール、その他の溶剤や磨き粉などは絶対に使用しない。
- 電源プラグやコネクタープラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜くなどして接続部に無理な力をかけない。
- 使用していないときは、電源プラグをコンセントから抜く。
- 持ち運ぶときはリモコンを本体に挟み、両側の取手をロックした状態で、リモコンコードの出口を上にして持ち運ぶ。
- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、ぬれた手で抜き差しはしない。
- 本製品を廃棄する場合は地域の条例に基づいて廃棄処理する。

【保管方法及び有効期間等】

（１）耐用期間

１０００時間【自己認証（当社データによる）】

※ 但し、指定された使用環境において、標準的な頻度で使用された場合の時間であり、使用状況によっては異なる場合がある。

【取扱上の注意】

（１）安全のため、使用前に取扱説明書をよく読み、正しく使用する

【保守・点検に係る事項】

（１）点検について

常に使用前、使用後の点検を行い、機器に異常がある場合には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、『販売店』へ連絡する。

（２）お手入れの方法

- 本体は、ほこりを払い落とし、中性洗剤を水で薄めた液に布を浸し、固く絞ってから軽くたたくように汚れを落とす。
- リモコンは、乾いた布で汚れを拭き取る。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者名：フランスベッド株式会社

住所：東京都昭島市中神町１１４８番地５

電話：０４２－５４３－３１１１

製造業者：フランスベッド株式会社 東京工場

住所：東京都昭島市中神町１１４８

電話：０４２－５４３－３１１３

お問い合わせ先：フランスベッド株式会社 お客様相談室

住所：東京都昭島市中神町１１４８番地５

電話：０１２０－３９－２８２４

販売業者の連絡先